

2019年度 SSTA科学教育若手教員研修会宮城大会 開催報告

1 研修主題（テーマ）

「科学が好きな子どもを育てるための教材化の工夫」
ー博物館や科学学習センター等の公共施設の活用を通してー

2 主題設定の理由（概要）

実際にそれぞれの地域にある博物館等の施設や設備の見学、実地踏査を行い、単元の指導計画に位置付ける活動を研修員自身が行うことを通して、児童生徒の学習活動の充実ならびに児童生徒への指導の充実を図ることができる。

3 研修目標

- 公共施設の見学や実地踏査を通して、公共施設を活用した単元の指導計画を作成する力を身に付ける。
- 他支部の先生方との交流を深め、切磋琢磨し合える仲間をつくる。

4 日時

令和元年6月15日（土）・16日（日）

5 場所

- ・全体会・研修会場
東京エレクトロンホール宮城（宮城県民会館）
- ・班別研修
スリーエム仙台市科学館、仙台市天文台

6 実施内容

（1）研修Ⅰ（施設見学・実地踏査）

研修員が科学館（2グループ9名）、天文台（1グループ3名）に分かれ、研修がスタートした。「この領域（単元）を指導する際に、実際に見学した施設の展示物を活用すると、自分の担任する子供たちの学習活動が充実する」という視点で見学し、指導計画作成の構想を深めていた。

（2）開会行事

- ① 開会の言葉
- ② 支部長挨拶 西條 裕哉
- ③ SSTA常任理事挨拶 山本 巖 様
- ④ SSTA事務局連絡 増田 藤雄 様
- ⑤ 閉会の言葉



